

集大成となる『これぞ前中』に期待

校長 千葉 賢一

新型コロナウイルスが5類移行となり、徐々にかつての日常生活が戻ってきました。

しかし、コロナ禍による長い活動規制により、前中の伝統を引き継いでいくことが難しくなっていたのも事実です。

そのような時、生徒会では、「これぞ前中」という生徒会スローガンを掲げ、コロナ禍前の前中に思いを馳せながら、これまでの伝統を大切に、地域の方々や卒業生に「これぞ前中」と感じてもらえるよう、活動に取り組むことを宣言しました。以来、「これぞ前中」のもと、前中生が力を発揮し、学校内外で前中生の素晴らしい活躍や生き生きとした姿を見ることができ、地域の方々にも喜んでもらっていることを大変うれしく思います。

数々の感動を紡いできた今年度の集大成ともいえる前中祭は、『これぞ前中 ～魅せましょう 前中伝説～』のテーマのもと開催され、昨年度復活した全校合唱に加え、学年合唱にも挑戦します。全員がマスクを付けて合唱していた昨年度からの変化も実感したいところです。そして、思いを込めた作品展示から学び合うとともに、一回勝負のステージ発表に魂を込めて観客を魅了したり、観客と一体となったりして、終了後には自然と涙が溢れるような、テーマにふさわしい前中祭になるよう期待しています。

前中祭は、来年も再来年も続きますが、3年生から1年生までの全校生徒、先生方も含めたこのメンバーで開催できる最初で最後の前中祭です。思い残すことなく、力を存分に出し切って、お互いを称え合う姿を見たいと思います。

保護者、地域の皆様には、本校に日頃からいただいております多大なるご支援・ご協力に厚く御礼申し上げます。また、野球部の全国中学校軟式野球大会の出場にあたり、たくさんのご支援を賜りましたことに、重ねて御礼申し上げます。前中祭では、ご自身が中学生だった頃の気持ちに戻りながら、子どもたちの作品やステージ発表をご覧になり、帰宅後には会話の弾む一日になることを願っております。

前中祭では、盛大な温かい拍手を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

私たちの青春

～ 個性や自由ではみ出していく ～

生徒会長 菅原 凌

今年の前中祭テーマ「これぞ前中 ～魅せましょう 前中伝説～」の通り、体育祭や中総体で地域に発信した元気で明るい前中らしさに加え、前中祭では、前中生の個性あふれる想像力や生き生きとした学校活動を魅せたいと思います。

この前沢中学校は、とても個性豊かな学校です。みんなそれぞれいいところがあり、その良さを全面に生かしながら、これまでも活動してきました。そして前中祭に向けて、クラス全員が一つになり、手を取り合うことで、今日までのかけがえのない時間を、みんなで共有することができました。

この前中祭の主役は、生徒一人一人です。私たちは、全生徒の活躍が光るこの機会を、全員が全力で楽しんでいます。保護者の方々にも、地域の皆さんにも、コロナを乗り越え、新時代を迎えた新たな前中を、ぜひ見ていただきたいと思います。個性や自由ではみ出す、笑いあり、涙ありの青春で満ちあふれた、最高の前中祭を創り上げました。ゆっくりじっくりご覧ください。